



創造みらい半田 竹内 功治

### ヒアリやエキノコックス症に対する現状と対策

**問** 有毒な蟻のヒアリは刺されると火傷のような痛みがあり、アナフィラキシーショックや死亡例も報告されています。昨年夏に常滑市での発見を始め、過去5年間で愛知県での発見例は14件あります。半田市の現状と対策について伺います。

**答** ヒアリの情報や対策について市ホームページで周知や啓発を行っています。また市民から年に数件の情報が寄せられ、その都度調べていますが確認されていません。市ホームページの更新が滞っています。また常滑市で発見されていますので、啓発活動を強化してはどうですか。

**答** すぐに市ホームページを更新します。また市内にヒアリが生息している可能性があれば、対策の強化を図ります。

**問** キツネや野犬の糞から感染し肝機能障害や死亡例もあるエキノコックス症が、知多半島で

は過去5年間で5件の野犬から発見されています。半田市でも感染した3件の野犬が発見されており、現状と対策を伺います。

**答** 知多半島内での感染は確認されていません。市ホームページで予防方法を紹介していますが、愛知県と情報交換しながら危険の周知と感染対策を図っていきます。

### 防災訓練の取り組み

**問** 自治区の防災訓練の実施状況を伺います。

**答** コロナ禍前の令和元年度は58件の訓練が実施されましたが、令和2年度は13件、令和3年度は19件の状況です。

**問** これからの防災訓練はコロナ禍を想定して更なる備蓄品の確保、ペーパー防災訓練、在宅避難訓練など新たな取り組みが必要ではないですか。

**答** コロナ禍を想定した備蓄品の確保は進んでいます。また新たな取り組みとして、体調不良者の別室内やドローンによるリモート訓練を実施しました。今後はマイ・タイムラインの作成を始め、在宅避難訓練など新たな取り組みも積極的に実施していきます。



志民ネット 小出 義一

### 半田の歴史に学ぶチャレンジとは

**問** 新しい都市像を先人たちの情熱と挑戦する心に学ぶ、「チャレンジあふれる都市・はんだ」として伺います。歴史からどのように学ぶかをお聞かせください。

**答** 酒造りには、新田開発や千石船での海運輸送。ビール造りには、赤レンガ建物建設、ドイツ人技師を招聘しての商品開発などに、学ぶべきチャレンジがあると考えています。

**問** 赤レンガ建物のカプトビルは、鉄道輸送が始まった時代に大手メーカーと競った歴史があります。その様な視点でチャレンジを伝えていないと思いますが、如何ですか。

**答** カプトビルが創業したころは、東海道線開通により鉄道輸送が始まった時代です。展示に工夫が必要な点はあると思います。博物館とも連携し、魅力を深めるよう努めていきます。



半田赤レンガ建物に設置された広告塔



**問** 今後高齢化が進み、少子化・核家族化にも向き合う必要が高まっています。課題山積の時代で、まさにチャレンジが必要です。市長としての取り組みをお尋ねします。

**答** 課題に沿って部課の再編や機構改革を実施していきます。また、新たな会議体を立上げ、市民の皆様の意見を取り入れていきます。

**問** 久世市長は、「市民の幸せ」を市政の目標にしていると認識しています。新年度事業への反映は感じられません。市長のトップダウン不足で、庁内に浸透していないように感じています。如何ですか。

**答** 現在、部長はじめ職員と考え方を共有しながら、市長施政方針に沿った政策づくりに取り組んでいます。また、次第発表していきます。



創造みらい半田 芳金 秀展

### 中心市街地の今後

**問** 名鉄知多半田駅周辺の賑わいづくりにおいて、今後のビジョン、現状把握、課題認識について教えてください。

**答** 平成27年度の土地区画整理事業以後、都市基盤の整備はできているものの、賑わいにはつながっていない状況にあります。

**問** 課題に対する解決手法はどのように考えていますか。

**答** 民間事業者や地元商店街など地域の関係者を連携し、複数のイベントを開催することで、賑わいを創出していきたいと考えています。

**問** JR半田駅周辺の賑わいづくりにおいて、今後のビジョン、現状把握、課題認識について教えてください。

**答** 現在、土地区画整理事業を行いながら、地元住民によるまちづくり検討会「カタリバハンダ」などにおいて、今後のまちづくりについて検討を行っております。コンセプトを「はんだプラ

イド」辿る足跡（そくせき）、挑む未来」として掲げ、今後も、人を中心とした、「自分のまちは、自分で作る」という行動指針のもと、賑わいのあるまちになるよう進めていきます。

**問** 「リノベーション」まちづくりという、都市再生の手法が効果的だと考えますがいかがですか。

**答** 人材の発掘という課題に対し「ハンダカタリバ」などに「リノベーション」のテーマでワークを進めるなど、先事例も参考にしながら、人材の育成や発掘に力を入れて進めていきたいと考えています。

※「リノベーション」まちづくりとは、事業オーナーと遊休不動産を持つ不動産オーナー、コディネーター役の家守（やもり）会社が一体となってまちの活用（リノベーション）に取組む手法。まちの新たな担い手を育成する事業も含まれる。

